

「日本の再建に向けて・正しい反省と必要な改革」

この40年程の間、日本の財政を悪化させてきた最大の原因は、社会保障費の激増と、それを賄うための税の徴収を怠り、借金で誤魔化してきた事にあります。その背景には、高度経済成長時代の終焉と少子高齢化の進展があります。そして、この国のリーダー達の未来予想の甘さと政治指導力の弱さもあつたと思います。現在のよう

に少子高齢化、借金、制度疲労、経済停滞など、あらゆる事が二ツチもサッチも行かなくなつてから慌てふためにも、なかなか有効な手立てが打てないのも事実だろうと思います。しかし、そういうとても厳しい環境の中でも山積する問題を解決するために、最大の努力をして行かねばなりません。

なぜこんな事になつてしまったのかを、出来るだけ正しく反省し、一度とこのような失敗を繰り返さぬよう、そして因果応報の結果としての厳しい現実を、どのように解決して素晴らしい未来へ向かうのかという答えを作つて実現してゆかねばなりません。

これは未来を研究し続ける機関や機能がこの国に備わつておらず、いろんな人達がつんでんバラバラに放言を繰り返してきただけだつたからだと思います。キチンと議論を集約して、正しいコンセンサスを作る努力と、議論の深まりと共に新たに生まれる様々な論点の研究を深めてゆける仕組みを作つておかねばなりません。

そしてもうひとつは、マスコミの問題です。マスコミは表現の自由を看板に掲げて自由な報道を行なっていますが、実際は国民の情報を統制し、国民の認識を左右するという途方もない機能を持つており、その実際の社会的責任はこのほか大きいにもかかわらず、充分な責任を取っていません。国民の認識を左右し世論を動かせるとは、民主主義国家においては政権を左右する権力でもあります。国民が正しく賢い選択をするための認識を醸成出来なかつたからこそ、現在の状況があるワケで、マスコミの責任

も大変大きいと思います。国家を司る3つの権力である、立法、司法、行政は、三権分立でお互いに牽制されるように出来ていますが、マスコミ報道という巨大権力は近代戦争時代から急速に台頭してきた巨大権力であり、独裁国家においては国家統治の最大の武器として今も機能しています。毛沢東も、広報宣伝は軍隊と同等の武器と言つていたようですから、これだけの巨大権力が自由勝手に権力行使を続けているとすれば問題だと思えますし、政権や一部の既得権者に左右されない監視機能を持つべきです。そういう意味では、NHK

来ただけ正しく予見出来なければならぬと思えますし、民主主義である以上、国民と認識を共有しなければならぬと思えます。

も大変大きいと思います。国家を司る3つの権力である、立法、司法、行政は、三権分立でお互いに牽制されるように出来ていますが、マスコミ報道という巨大権力は近代戦争時代から急速に台頭してきた巨大権力であり、独裁国家においては国家統治の最大の武器として今も機能しています。毛沢東も、広報宣伝は軍隊と同等の武器と言つていたようですから、これだけの巨大権力が自由勝手に権力行使を続けているとすれば問題だと思えますし、政権や一部の既得権者に左右されない監視機能を持つべきです。そういう意味では、NHK

来年の参院選大分選挙区のごしょうはるとも
 自民党公認候補に弁護士の古庄 玄知氏。

公正・公平で思いやりあふれる政治。

ごしょうはるとも 古庄 玄知

自由民主党大分県参議院選挙区第二支部長・弁護士
 〈ごしょうはるともプロフィール〉

昭和32年 12月23日 国東市安岐町にて生まれる
 昭和48年 杵築市立杵築中学校卒業
 昭和51年 大分県立杵築高等学校卒業
 昭和55年 早稲田大学法学部卒業
 昭和57年 司法試験合格
 昭和60年 弁護士開業(大分県弁護士会)
 平成20年 大分県弁護士会 会長

別府大学講師(非常勤)
 大分朝日放送
 「スーパーJチャンネルおおいた」コメンテーター
 暴力追放大分県会議相談委員
 その他県や市町村の各種委員 など歴任

趣味 登山・短歌等 妻・娘2人 大分市在住

は公共放送として公的な監視の下に置かれていますが、より公権力として三権と同様に牽制する仕組みが必要だと思えます。またNHKには新聞出版機能やインターネット報道機能が不十分なところがありますから、公共広報機能の強化を図るべき部分もあると思います。日本を再建するには、未来を見通す力をどの国よりも高めること、立法・司法・行政・報道の四権分立と、四権が国益の下に協力して未来へのコンセンサスに向けて汗を流す体制を整える事が必要だと思えます。

Facebook でも活動報告を行っています。〈Facebook アドレス〉 <https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください! お待ちしています。

衆議院議員 穴見陽一 後援会 事務所

〒870-1133 大分市大字宮崎867-18 TEL.097-567-1319 FAX.097-567-2010

<http://www.anamin.net> E-mail:info@anamin.net

